

【省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)】

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月30日

(宛先) 長野市長 萩原 健司

提出者

住 所 長野市上高田992-3

氏 名 パナソニックホームズ信州株式会社

代表取締役 森川 一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-227-4556

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

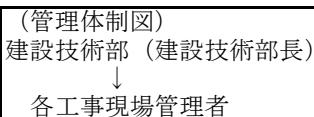
事業場の名称	パナソニックホームズ信州 株式会社 東北信支店
事業場の所在地	長野市上高田992-3
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 361,738 万円
③従業員数	68人
④産業廃棄物の一連の処理工程	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず…再生処理業者へ委託→再生骨材として再資源化 がれき類…再生処理業者へ委託→路盤材として再資源化 紙くず…再生処理業者へ委託→固形燃料として再資源化 石膏ボード…再生処理業者へ委託→固形燃料、汚泥乾燥剤として再資源化 繊維くず…再生処理業者へ委託→固形燃料として再資源化 廃プラスチック類…再生処理業者へ委託→固形燃料として再資源化 木くず…再生処理業者へ委託→木材チップとして再資源化

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	71.86t	86.94t	252.45t	0.16t	23.21t	68.35t
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・アスベスト)	建設混合廃棄物 (安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物			
	排出量	587.66t	87.69t	12.19t			
	(これまでに実施した取組)						
新築工事において、現場での分別、余剰部材の回収の実施、再利用化を徹底する事で減量を図っています。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	70.00t	85.00t	250.00t	0.10t	23.00t	67.00t
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・アスベスト)	建設混合廃棄物 (安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物	0	0	0
	排出量	585.00t	86.00t	11.00t			
	(今後実施する予定の取組)						
解体工事について、現場で可能な限りの分別促進とリサイクル率の高い中間処分場の開発及び委託契約の実施。							

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>新築現場において、事業場内に木くず、ガラス陶磁器、がれき類、金属くず、紙くず、廃プラスチック類を廃棄物保管場所の掲示のもと、ラック（雨濡れ防止）へ分別保管としています。どの現場廃棄物かわかるようごみ袋にコードを記載。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>有価物、リサイクル物の具体的な表示の実施及び認識の向上。</li> <li>解体現場での分別の徹底及び建設リサイクル法適用除外分においても、同法の基準に応じた分別を実施する。</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	石綿含有産業廃棄物	0	0	0
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。						
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管)	石綿含有産業廃棄物	0	0	0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。						

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード含)
全処理委託量	70.00t	85.00t	250.00t	0.10t	23.00t	67.00t
優良認定処理業者への処理委託量	60.49t	83.30t	57.50t		16.33t	37.52t
再生利用業者への処理委託量	56.70t	83.30t	240.00t		23.00t	38.19t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リガラ、廃アス ファルト、レンガ)	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)	石綿含有産業廃 棄物	0	0	0
全処理委託量	585.00t	86.00t	11.00t	0.00t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量	17.55t	86.00t				
再生利用業者への処理委託量	579.15t	74.82t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組) 委託先の処理業者には年1回以上現地確認を実施する。						
※事務処理欄						

②計画

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類（実績値・計画値）												合計		
		廃プラスチック(廃タイヤ、 登録フチ)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・ コンクリート・ 陶磁器／	がれき類 (コンクリ がら、廃 アフタ)	建設混合 廃棄物(安 定型、管 理型)	石綿含有 産業廃棄 物	0	0	0			
排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	71.86t	86.94t	252.45t	0.16t	23.21t	68.35t	587.66t	87.69t	12.19t	0.00t	0.00t	0.00t	1,190.50t	
		本年度排出量(計画)	70.00t	85.00t	250.00t	0.10t	23.00t	67.00t	585.00t	86.00t	11.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,177.10t	
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項		前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項		前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
処理の委託 に関する事項	全処理委託量	前年度実績	71.86t	86.94t	252.45t	0.16t	23.21t	68.35t	587.66t	87.69t	12.19t	0.00t	0.00t	0.00t	1,190.50t	
		本年度計画(目標)	70.00t	85.00t	250.00t	0.10t	23.00t	67.00t	585.00t	86.00t	11.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,177.10t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	62.10t	85.59t	58.30t	0.00t	16.39t	38.17t	15.84t	87.45t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	363.83t	
		本年度計画(目標)	60.49t	83.30t	57.50t	0.00t	16.33t	37.52t	17.55t	86.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	358.69t	
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	58.48t	85.24t	242.63t	0.00t	23.21t	38.67t	582.78t	76.68t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,107.68t	
		本年度計画(目標)	56.70t	83.30t	240.00t	0.00t	23.00t	38.19t	579.15t	74.82t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,095.16t	
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。